



としょかん 図書館だよ!

瑞穂台小学校 / 令和8年1月号(2026年)

あけましておめでとうございます。今年も、みんなさんの学習や読書支援に役立つ
図書室をめざしていこうと思います。よろしくお願ひします。
今年は、午年です。馬が登場する本とお正月の本を紹介します。

『スーホの白い馬』 大塚勇三/再話 副音感書店 38/才

モンゴルの民族楽器であるモリンホール(馬頭琴)の由来にまつわる物語です。

『おもちのきもち』 かがくいひろし/作 講談社 絵本/力

かくいう わたくしは かがみもちとよばれ
とこのまにかざられ、いまのところ だいじにされて
おりますが、いつなんどき たべられることやら。
ああおそしや。おもしろいおもちのおはなしです。



蔵書点検



1月13日(月)～1月30日(金)の予定
で蔵書点検を行います。その期間は、図書室
に入ることも、貸出し返却業務もできませ
ん。資料の貸出ちは1月9日までにお願い
します。

1月8・9日は3冊貸出し

おしらせ!

必読書の終了者はおみくじがひけます。
1月8・9日業間・団休み・クラス利用時
に、図書室で図書カードに終了者のちいか
わのシールが貼ってある人はおみくじがひ
けます。カードを提示しておみくじで運だめ
しをしましょう(1回だけ)。今年は干支のしお
りみくじです。2月27日必読書終了日ま
でひけます。ラストスパートでしおりをゲッ
トしよう! 但し蔵書点検中はひけません。

読書アンケートの結果について

11/4～11/28まで、各学年2組の児童の皆さん
の協力で読書アンケートを行いました。
結果を図書室内の掲示板に掲示してあります
のでご覧ください。

今年度の瑞穂台小児童のひと月に読んだ本の
平均冊数は32冊でした。(読み終わらない本・
調べ学習などで使った本も含みます)

これからもいろいろな分野の本を
読みましょう。ご協力ありがとうございました。

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

司書のおすすめの本

『北の馬と南の馬』 48/マ

前川貴行/写真・文 あかね書房
青森県の塞立馬と宮崎県の御崎馬。同じ日本の馬でありながら、対照的な環境に生きる姿を追い、生き物と環境の関係を見つめる写真絵本。

『おなじところちがうところ』 絵本/ア

荒井洋行/作 くもん出版
お互いを認め合うことを学ぶ絵本です。





瑞穂台小学校 給食週間（1月26日～30日）



いっぱい食べて元気な体をつくりましょう。

食育に関する本

給食で愉快だ
宇都宮

『給食室のいちにち』 大塚菜生/文 少年写真新聞社 絵本/オ

給食はどうやってできるの？栄養士ってどんな仕事を？身支度、検収、打合せ、調理、片付け、食に関する指導、献立づくりまで、小学校の給食室と栄養士の現場が描かれています。安全でおいしい給食はどのようにして教室まで届けられるのか、楽しく学べる絵本です。



コドモ工のえほん

『ごはんのすかん』 絵本/ア
大森裕子 /作 白泉社

おにぎりから始まり、世界の米料理まで
紹介されています。



給食の歴史

1889年日本で最初の給食と言われている
のは山形県の小学校で出されたもの。

メニューは、おにぎり、焼き魚、漬物でした。
年号は、明治。

社会全体のできごとは、大日本帝国憲法が発布されました。



うつのみやがく
宇都宮学



とちぎ民話
語りかまど
の会/編集
38/ト

参考資料

うつのみや
宇都宮の民話

どうめきものがたり

『百目鬼物語』

はなわだまち

(塙田町)



宇都宮市には馬にまつわる民話として『百目鬼物語』があります。この民話は、かつて「馬すて場」と呼ばれた場所に現れた恐ろしい化け物を退治する話です。平安時代、武将の田原藤太が家来を連れて今の宇都宮市周辺で狩りをしていました。その帰り道、ある老人から「大曾の里の北西にある兎田へ行け」と告げられます。兎田は廻間でも薄氣味悪い「馬すて場」と呼ばれる場所でした。藤太がそこで待っていると、身の丈3メートルもある、百の目を持つ恐ろしい化け物が現れました。藤太は百の目の中で特に光り輝く一つの目を狙い、矢を放ちました。矢は見事に命中し、化け物は倒されました。兎田は「塙田村」と名前を変え、人が住むようになりました。化け物の頭があった場所は「百目鬼」と呼ばれるようになり、現在もその地名が残っています。

(A1 参照)

せんせい
先生のおすすめの本

仁平 由美副校長先生

『ちゃんとたべなさい』 グレイ、ケス/作 小峰書店
ディジーはおまめがだいきらい。
ママはおまめを食べたら、よふかししてもいいし、おふろにはいらなくてもいいって言ってるけど…
条件がだんだんエスカレートしていきます。ディジーはおまめを食べられるようになるかな？



かんたんに作れるお料理が載っています。

『とびきりおいしい

おうちごはん』

野村友里/著 小学館 59/ノ
じぶんた
じぶん
「自分で食べるものを自分でつくれる」ってすごいこと。



学研まんがでよくわかるシリーズ

『給食のひみつ』

たまだまさお/まんが
学研パブリッシング
59/ガ



うつのみや
宇都宮の旬の

農産物

いちご



1月の花言葉

福寿草

しあわまね

幸せを招く

